

必要性と目的

堂本学

## 内容

必要性と目的 .....	1
学校は宿題を出す必要性はある？多くの人が忘れている真の目的とは？勉強の意味 .....	4
小学生から自宅学習を定着しないと後々面倒になる理由勉強の意味 .....	6
まとめ .....	7
著者：つかさ .....	8

『筆者：堂本 学』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

学校は宿題を出す必要性はある？多くの人が忘れている真の目的とは？勉強の意味

学校の宿題をやっている、学力は伸びないという意見もあります。

確かに、宿題をしても学力が伸びない子供もいますし、成績とは関係ないようにも思えますね。本記事では、学校は宿題を出す必要異性があるのかや、宿題の真の目的についてお伝えをしていきます。

学校は宿題を出す必要性はある？多くの人が忘れている真の目的とは？

宿題をやらない子供の対処法学校の宿題は必要？不要？筆者の意見を紹介！

学校は宿題を出す必要性はある？

学校が宿題を出す理由というのは、学校の授業に対して本当に理解しているかどうかの確認という見方もできます。

そう考えると、宿題の目的は学校で学んだことを復習するための、反復練習みたいなものといえますね。では、授業をしっかりと聞いていれば、学校での宿題は必要ないのでしょうか。それは違います。なぜなら、子供によっては先生の話聞いていても、しっかりと理解できていない場合もあります。

さらに言えば、分からないことを質問する勇気が無い、人見知りの子供もいるでしょう。色々な性格を持つ子供たちがすべて、授業を把握することができるのかと言えば、全くそうではないのです。

ということは、学校の宿題というのは、復習をするために必要なものだと言えますね。多くの人が忘れている真の目的とは？多くの人が忘れている宿題の真の目的とは、分からないことをわかるようにするという事です。多くの人は宿題を出されたら必ず行い、先生に提出するという感じのルーティンワークみたいな感じになっています。

筆者から言わせれば、そうではないと考えるのです。最近の学校の先生も、おそらく「自分も子供のころにやらされていた」という感じで、もはや宿題をすることが当たり前を感じているかもしれません。「宿題を出されるのが当たり前」ではなく、「どうして宿題を出されるのか？」を考えるほうが宿題の大切さを、理解できそうな気もするのです。

宿題をやらない子供の対処法宿題をやらない子供というのは、大変多いのではないのでしょうか。筆者も小学生のころは、宿題もしないで遊びに外に出かけていました。

しかし、そんな筆者も過去に時間を決めて、宿題をするようにしたという経験があります。たとえば、夏休みなら朝9時から10時まで、宿題の時間というのを作ったりすれば良いでしょう。他の時間は遊んで良いという風にすれば、宿題をする可能性も高くなるでしょう。「やらないと先生に怒られるよ」「みんなはちゃんとやってるのに」以上のようなことを言うのは、本当に逆効果なのでやめたほうが良いです。

一番効果的なのは、自分から動くように躰けるといのが、一番良いでしょう。自分で行動ができない子供が大人になると、いちいち人の意見を聞かないと行動できない大人になってしまいます。

そういう大人にさせないためにも、自分の意思で行動させるようにしないとイケないでしょう。学校の宿題は必要？不要？筆者の意見を紹介！学校の宿題というのは、筆者の意見としては不要です。

筆者は社会人であり働いている身分で学生ではないですが、宿題は無くても良いと考えています。筆者が学生のころによく聞いた話ですが、「宿題は学力向上のためにする」ということ。いえいえ、学力と宿題の関係性は、ほとんどありません。

宿題が多すぎて先生の仕事が増えるというのは、本当にどうでも良いのです。先生は仕事でしているので量が多くても、文句は言っただけじゃありません(笑)

しかし、生徒の場合は学校の授業で覚えきれない部分を、家庭学習でしっかりと勉強することで理解を深めるように、努力をすべきと思います。教育基本法に定められている学習指導要領を、隅から隅まで読めば理解できますが、宿題は公教育で義務化されていません。

宿題を出すのは先生の義務ではなく、先生たちのサービスであると考えたほうが良いでしょう。宿題を出すという儀式みたいなことが行われるのは、学習習慣を身につけさせるためです。たとえば、夏休みに学校に行っていない間は、勉強をしない子供も多くなりやすいです。

もし、宿題が無いと、これまで積み上げてきた学習習慣が、無くなってしまう可能性があります。そうならないために、多すぎるともいえる宿題を出すことになったのでしょう。

筆者から言わせれば、宿題は任意でOK。学校で宿題として強制しないと、家で勉強をしないという意見もあります。

ほかにも、「私のいうことを聞かない」という意見もあるのですが、どちらも子供と親の関係が悪いただけとも言えるでしょう。家庭によっては親が課題を出して、学習させている場合もあります。先生だからと言っても宿題を無視されるケースもたくさんあるのです。家庭学習というのは、本来親の責任であり学校は関係ないでしょう。

まとめ

学校は宿題を出す必要性はあるのかということですが、筆者の意見を言わせていただければ不要だということです。宿題の真の目的は学校の授業で覚えきれなかった内容を、復習するためでもあります。さらに、もう一度授業勉強したことを家で理解を深めるために、もう一度勉強をするという目的でもあるのです。宿題をこなしていくことが目的になっていると、なかなか成績がアップしません。

担任の先生だけに頼りっぱなしで、自宅では勉強すら見ていない親の場合は、子供の成績アップも期待できない場合が多いです。過激にチェックするのもダメですが、放置しすぎるのもダメ。その中間というのは結構むづかしいですが、適度に勉強を見てあげるといふ姿勢のほうが良いかもしれませんね。

小学生から自宅学習を定着しないと後々面倒になる理由勉強の意味

自宅で学習をするという習慣は、小学生の間から身につけさせたほうが良いです。

なぜなら、自宅で学習をするという習慣は、中学生からはなかなか身に付かないからです。さらに、勉強についていけない場合は、勉強嫌いになりやすいので、自宅で学習をする習慣が身に付きにくいでしょう。

そうならないためにも、小学生から自宅学習を定着させないと、後々面倒になるのです。本記事では、小学生から自宅学習の習慣を身につける理由や、勉強は何のためにするのかについても筆者なりにお伝えしていきます。

小学生から自宅学習を定着させないと後々面倒になる理由やらされる勉強は何も生み出さない！小学生から自宅学習を定着させる方法まとめ小学生から自宅学習を定着させないと後々面倒になる理由小学生から自宅学習を定着させないと、徐々に授業についていけなくなります。

小学4年生から、行き詰った状態を放っておくと、中学校に行く頃には取り返しがつかなくなるのです。確かに、「勉強をきなさい」と言わなくても、勉強をしてくれれば楽なものはありません。しかし、勉強が付いていけない場合は、勉強が嫌いになっているので「勉強をきなさい」というまで、しないことが多いかもしれません。

筆者の経験ですが「勉強をきなさい」というまでしない場合は、テストを少ししてみると良いでしょう。ただ、普通にテストを子供に出題するのではなく、「満点が取れたら遊んで良い」という条件で、テスト問題を子供に出題するのです。これは、普通にクイズ方式でも良いでしょうし、カルタ方式で行っても良いでしょう。

小学生の間は「勉強は楽しい」と思ってもらうために、ゲーム感覚で勉強をさせるほうが学習習慣が身に付きやすいです。つまり、勉強嫌いになってしまってから、学習習慣を身につけさせようとしても、中々身に付かないということですね。やらされる勉強は何も生み出さない！勉強とは、やらされるものではありません。

しかし、大人になった我々も、学生時代は親から「勉強をきなさい」と、言われていたのではないのでしょうか。中には、何の疑問も持たないで勉強をしていた人も、ひょっとしたらいるかもしれません。学校でも自宅でも先生や親から、「勉強をきなさい」と言われるので、「勉強は、やらされるもの」と思ってしまうのでしょうか。

筆者も、学生のころは親から「勉強をきなさい」と、何度も言われていました。筆者自身も「勉強はやらされるもの」「勉強とは嫌なもの」と、そのように考えていたのです。

今でも、「勉強」という言葉は、トラウマ状態になっています(笑)しかし、自分から学習をするようになってからは、勉強というのは楽しいものだということに気づきました。ただ、強制的にやらされている感をなくすためには、「勉強は楽しい」と思ってもらうことが大前提なのです。筆者は自他認める勉強嫌いでした。そんな筆者が勉強好きになったのは、「勉強は楽しい」と思えるようになったからです。

つまり、やらされている勉強というのは、何も生み出しませんし記憶に定着しにくいと言え

ます。ですが、「勉強は楽しい」と思うようになれば、記憶に定着しやすくなり、なんでも覚えるようになるのです。

小学生から自宅学習を定着させる方法学習習慣が全くない子供や勉強が嫌いな子供には、タブレット学習が最適だと言えます。タブレット教材はゲーム感覚で学習が可能ですし、紙や鉛筆を使う必要が無いので、子供は勉強とは思いきくなります。

タブレット学習の中には、学習量は問題の正誤に応じて、褒美がもらえるという仕組みを持っている通信教育もあります。勉強に慣れて来たら、タイミングを見て紙タイプの通信教育に切り替えても良いでしょう。

#### まとめ

勉強をやらされているという環境や、やらされていると感じている場合は、いつまでも本当の勉強というものができません。本当に勉強をしようという場合は、自分から積極的に学習をする姿勢を持たなければ、真の勉強というものはできないのです。「うちの子は、勉強しなさいと言わないとやらないの」という親もいますが、子供に勉強は楽しいと思うように努力していますか？おそらく、何もしていないかもしれません。勉強を苦痛だと思わせないように、勉強が楽しいと思えるような工夫をすると良いでしょう。勉強が楽しいと思ってもらうための工夫は、以下のページで紹介しているので読んでみてくださいね。

著者：つかさ

日頃考えていることをつらつら書いています。少しでも共感してくれる人や日々のお役に立てばうれしいです(^▽^)/